

平田建設が道路清掃ボランティア

安全、快適な利用環境に

道道500号区間で丁寧な作業

【帯広発】

平田建設(士幌、野中栄忠社長)は六日、社会貢献活動の一環として、本社社屋前を走る道道士幌停車場線で道路清掃ボランティアに取り組んだ。野中社長をはじめとする役員ら約三十人が参加。ひと冬の間溜まったごみや砂利を丁寧に取り除き、地域の環境美化に貢献した。



ひと冬の間溜まったごみを清掃した

と冬の間溜まったごみや砂利を丁寧に取り除き、地域の環境美化に貢献した。この活動は、二十二年度から毎年実施しているもの。同社では、「富秋士幌川下流地区実勝排水路南一号線工区」(帯広開発発注)、「畑地帯育成西上第2地区81工区」(十勝総合振興局発注)、「28年災1124号首更川災復」(帯広建設発注)を受注していることなどから、ことしも道路清掃を行っていた。

当日は、作業の開始に当たり、野中社長があいさつ。同路線が通学路に使わ

れていることや、道の駅の完成によって交通量の増加が見込まれるとした上で、「冬に溜まったごみを一扫し、元気に通学してもらおう」とも、道路を気持ちよく利用してもらおう」と呼びかけた。

このあと、役員ら約三十人が約五百号区間で作業を展開。歩道のごみや砂利をほうきで車道に掃いたあと、ロードスイーパー二台を使って残らず回収した。機械では回収しきれなかったごみについても、手押し式のスイーパーで丁寧に拾い集めていた。